

## 二十一世紀の幕開け



二十一世紀の初年の元旦、多くの人が初詣を  
されました。

町内の神社、お寺にも朝早くから参拝される  
人の長蛇の列ができ、一年間の幸福を願ってい  
ました。

「昨年は何事もなく、平穩に過ごせました。  
今年もせいたくを言わないで、昨年と同じよう  
に過ごせたら満足です。」と御家族で来られた  
田村さん（海老津区）は今年の抱負を語って  
くれました。

龍昌寺にて



13年1月1日現在



議長 松本 國夫

あけまして  
おめでとうございませす

みなさまにおかれましては、お健やかに二十一世紀の新春をお迎  
えのこととお喜び申し上げます。

また、平素から町政に対するご理解とご支援を賜り、厚くお礼申  
し上げます。

さて、昨年末に不祥事が起き、町長の退職同意議決に至り、町政  
に対する不信を招くなど多大なご迷惑をおかけしましたことを深く  
反省しています。今後は町政の信頼回復のため、議員一丸となって  
取り組む所存でございます。

ところで、二十一世紀を迎えた私たちの社会環境は、さらなる少  
子高齢化、高度情報化、地方分権化などによりめまぐるしく変化し、  
日々の生活に深いかかわりが生じます。

本年は、新時代に対応すべく、今後十年間の町づくりの指針とな  
る「第四次総合計画」が策定され、新しい町づくりの出発の年とな  
ります。

遠賀郡の合併問題であります。一昨年8月に任意協議会を設置、  
検討・協議が進められ、本年3月末までに一定の方向づけの結論が  
出される予定です。

いづれにいたしましても避けて通れない問題であり、みなさまの  
ご意見などを伺いながら対応したいと思っております。

おわりに、二十一世紀がみなさまにとりまして、より良いものと  
なりますことを心よりお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたし  
ます。

# 三常任委員会視察研修報告

10月19日から21日の日程で県道「岡垣宗像線」の整備促進の要望を地元出身の国会議員に陳情し、また「村おこし」について群馬県上野村を研修視察した。

◎JR鹿児島本線南側の

県道は拡幅工事が進んでいます。海老津宝地域の下水道工事は平成15年度より着工予定となっており、JR線路下をぬける工事が急がれますが、高額な費用を要するため国の補助事業と位置づけ採択されるように国会議員に陳情した。

◎上野村は人口千七百三十九人で九十四パーセントが山林の村である。六十五歳以上の

人は六百三十九人で高齢化率も三十六・七パーセントと非常に高いが、トップの指導力と優れた先見性で村の活性化対策や福祉・教育には目を見張るものがある。村おこしの原点は都会の

人や村外者との交流を積極的に進めることにより、中

## 総務常任委員会

でも「親せき村」に加入すれば、親せき縁組者認定証が発行され、年会費を納めれば「十石みそ」などの特産物が年三回送られてくる。また、観光施設の利用料金の割引や体育施設が村民と同様に利用でき、都会に出る「ふる里」を思い出す

人や都会で生まれふるさとのない人がほとんどである。教育については「かじかの里学園」を創設、遠くは東京、茨城、栃木からも入園者がある。この学園は一年契約で、同じ屋根の下で共同生活を行ない、食事の用意から掃除、洗濯までを生徒自らが行ない、助け合い、思いやり精神が養われる貴重な体験合宿である。上野村は昭和60年8月の日航機の墜落事故現場となった御巣鷹山がある村でもある。



陳情の内容を説明し、理解と協力を求めた。

## 閉会中の調査・研究

当委員会では、議会閉会中に左記の項目について、継続的に調査研究を行なった。

### 〈学校調査〉

町内各小中学校7校を順次訪問し、教育環境、教育条件の整備について調査した。今教育の直面している課題は複雑にして多面的である。とりわけ「週5日制の導入」「開かれた学校づくり」「学校評議員制度の導入」「学習指導要領の改定」

「岡垣町教育基本構想の策定」等では、待ったなしの対応が求められている。各委員、教育現場の生の声を聞きながら、「ひとつくりまちづくり」のため、これからの議会活動、委員会活動に活かしていきたい

との思いで、12月26日まで全小・中学校の学校調査を実施した。

### 〈視察調査〉

学校調査した内容、考え方で、10月25日から27日の日程で三重県松阪市教育委

員会と兵庫県滝野町を視察した。

松阪市では「開かれた学校」を先取りしたかたちで、地域を取り込んで「地域立」の学校づくりがなされており、「学校評議員制度」がすでに導入されていて、それに至る背景・経緯・手続等大いに参考になった。

またこれからの町の最重要課題の一つである健康対策、とりわけ「なつてから」の対策から「健康保持」・「病気になるない」対策への転換が求められている中で、保健婦・保健士・栄養士の役割が今より重くなっている。

「保健婦の窓口対応」情報ネットワークを利用した健康管理など、近未来を予感させる視察研修であった。

以上述べたように、委員会活動も議会開会中だけでなく、近い将来考えられる

## 文教厚生常任委員会



松阪市で教育問題などについて、時間オーバーで研修。

町の行政課題に町民の代表としていかにのぞむか、ということでも継続的に行われている。

委員各位は、議員個人としてははもとより、委員会委員相互の共通認識を得る場としても閉会中の調査研究があり、これからもさらに研究をと考えている。

漁業振興対策について先進地である大分県日出町と鹿児島県根占町を11月6日から8日の日程で視察研修を行なった。

◎大分県日出町の城下カレイは、歴史が古く香味優逸にして、確かに魚貝のトップに推す値打ちがある。

そのため

漁業関連施設について、

受益者負担を取らず町

が肩代わりしていることは評価される。

城下カレイがブランド化された理由としては、別府湾の地形、水質、水温はもちろん、特に日出町の谷城のすぐ下の海中に真清水が湧いていることが城下カレイの生育に大きな影響を与えているといわれている。

城下カレイは成

魚になるまで三年かかり、また一部の漁業者のみが従事していることから、若い漁業組合員からは、一年で生長し、出荷できる車海老の放流に力を注ぐように要望が上がっている。

波津漁協の漁業振興策としては、漁港先から

経済建設常任委員会



城下カレイの養殖技術には目を見張るものがある。

郡境まで岩礁地帯となっており、この地形を活かしたウニ、アワビ、サザエの取り組みをさらに充実したものにしていく必要がある。また獲れた魚介類の販売(朝市)などについても漁業者と検討・協議しながら進めて行く必要がある。

◎鹿児島県根占町では、民間業者がハマグリ(ハマグリ)の養殖を砂浜ではなく、陸上に海水農場を作り生産するシステムを確立している。これは発想の転換と新技術の導入でのブランド化が大きなポイントになっている。貝が餌とするのは微細藻だが、天然のハマグリが餌とする微細藻と同じ微細藻を独自の技術で開発し、生産している。

育った貝は身が大きく、肉質も柔らかく、一年を通じて、九州圏内はもとより関東方面まで新鮮な状態で発送されている。岡垣町で、この特許によるものを技術導入したときにはたして継続し供給できるか、それに伴う施設の設定、永続的な特許料の支払、また稚貝の確保が中国、韓国からできるのか。

このことから本町の漁業振興に参入するためにはまだ検討協議が必要と思われる。



石井要祐議員

一般会計補正予算(第3号)について

交通安全対策費が補正で減額になっているがなぜか。

交通安全対策特別交付金(交通反則金などが当てられている)が当初より減額されたので減額補正を行なった。しかし当初予算(単費)で百万円計上している。

団地内のせまい道路の溝にフタをすることで少しでも道幅が広く(四メーター道路)なるように努力されていることは理解するが、まだまだ要望場所が多くあるので、できるだけ早く実施されるよう希望する。

また、一方で道幅が広くなったのは有り難いが、走行車が今まで以上のスピードを出すので危険を感じる。来年度はぜひ予算化して「飛び出し注意」「徐行」「スピード落とせ」などの道路標識を設置していただきたい。

来年度の予算で努力したい。

危険箇所を早急に調査して、できるだけ早く設置し、事故防止に努めていただきたい。



道路標識も少ないが、まず運転者のマナーを改める必要がある。



竹井信正議員

交通体系の充実を

**問** 平成13年度から始まる第四次総合計画の案の概要が提示され、「暮らしに安心を、健やかに快適に暮らせる町」で、快適な交通基盤づくりの充実を求めようとする交通体系の確立があります。

こうした中で、海老津駅前交差点は朝夕の通勤・通学時には大変な渋滞となっている。  
早急な改善はできないのか。

**答** 時間差信号で少しは緩和されているが、さらに実態を調査する。

環境整備の充実を

**問** 松ヶ台グラウンドは、スポーツレクリエーションを通じて健やかな心身と豊かな人間関係を養うためにも必要な施設として、町民の皆さんは大変喜んで利用されている。しかし、周辺には外灯がなく危険である。ぜひ外灯を設置してほしい。

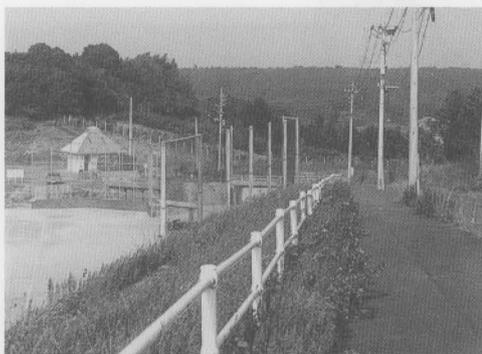
**答** 周辺の実態を調査し、検討する。

固定資産税の減免を

**問** 夫が亡くなって遺族年金者は年金の減額もあり非常に苦しい生活をされている。

固定資産税は三年ごとに見直しがされ、負担が増えている。遺族年金者にも固定資産税の減免措置の検討をお願いしたい。

**答** 郡の町長会に提起し県や国にも要望する。



松ヶ台グラウンド、外灯の整備が待たれる。

こんなことを

聞きました

一般質問



細川光利議員

**問** 本日の一般

質問は二十世紀最後の質問です。昭和42年初当選し、以来三代の町長に一般質問を行なってきた。

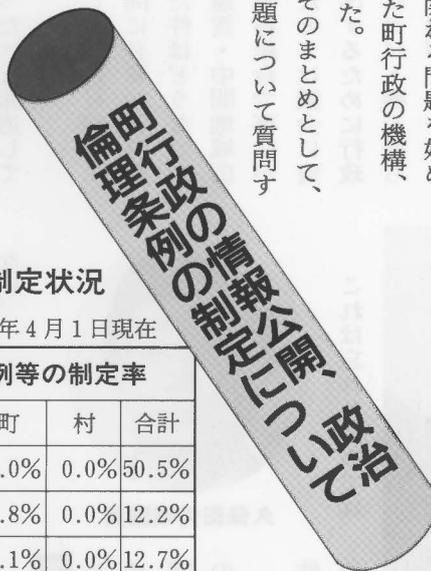
町民の暮らしに関わる問題を始め、活性化にいたる質問をしてきた。

二十一世紀を目前にして、そのまとめとして、町政、町行政の原点である課題について質問する。

今日の政・官・財（業）の癒着による汚職事件が多く発生して、大きな社会問題となっている。どのような見解を持っているのか。

また、問題発生の原因は何か、これら問題の防止策の重要な手段として政治倫理条例、情報公開条例の制定を実施すべきと考えるが答弁を求める。

**答** 公的な業務の遂行に携わる人の倫理観の欠落とさまざまな社会の仕組み、経済活動が複雑に交錯する中で発生しているのではないかと思われる。特に政治家は倫理の面においても住民のリーダーであり、また信頼されるものでな



九州各県の情報公開条例の制定状況

平成12年4月1日現在

	市町村数				条例等の制定率			
	市	町	村	合計	市	町	村	合計
福岡県	24	65	8	97	95.8%	40.0%	0.0%	50.5%
佐賀県	7	37	5	49	28.6%	10.8%	0.0%	12.2%
長崎県	8	70	1	79	62.5%	7.1%	0.0%	12.7%
熊本県	11	62	21	94	36.4%	9.7%	4.8%	11.7%
大分県	11	36	11	58	100%	27.8%	9.1%	37.9%
宮崎県	9	28	7	44	44.4%	0.0%	14.3%	11.4%
鹿児島県	14	73	9	96	42.9%	0.0%	0.0%	6.3%
沖縄県	10	16	27	53	20.0%	6.3%	0.0%	5.7%
合計	94	387	89	570	53.8%	12.7%	3.5%	18.6%

ければならない。県内市町村においても、九十七市町村のうち条例制定市町村が六割を超えている。開かれた行政を推し進めるため、情報公開条例の制定に向けて取り組んでいる。行政に対する正しい認識と町民の信頼に応えるためには情報公開と政治倫理は公正で開かれた民主的な町政を進める上で、一体的に検討しなければならない課題であると考えている。

岡垣町政治倫理条例については町長、助役、収入役、教育長、及び町会議員を対象として、平成13年度制定を考えている。

**問** 中心市街地の現況をどのように分析、把握しているのか。

**答** 住民の意識調査による消費者側からみた問題点については、まず買い物客などの行先、駅周辺での滞在時間と交通手段などの日常生活での地域との関わりが重要であると認識している。

**問** 具体的に言うとう、町全体の人口増とは別に当該地域は人口減で、高齢化率も町全体では二十一パーセントを超えており、比較しても三十一パーセントと非常に高く、計画等を早く実施すべきと思うがどうか。

**答** 平成11年度「岡垣町中心市街地活性化基本計画」が策定されており、四町合併協議の中にも岡垣町の中心市街地として位置づけていきたいと思う。



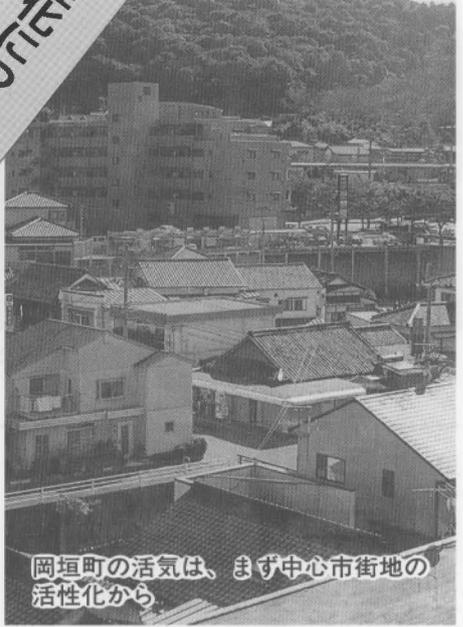
竹内和男議員

**問** 早期に計画を実施すべきと思うがどうか。  
**答** 商工会からTMO（タウン・マネージメント機関）構想を策定して町へ提出されるのを待っている。

**問** 中心市街地である海老津駅前地区の商店街は急激に衰退しており、市街地の早期再生に取組む必要があるか。  
**答** 平成11年度「岡垣町中心市街地活性化基本計画」が策定されており、四町合併協議の中にも岡垣町の中心市街地として位置づけていきたいと思う。

**問** この地域二十九・五ヘクタールを岡垣町の中心市街地とするが、重なる部分の用途地域の見直しもあるのか。  
**答** 平成13年が見直しの時期だが今後の課題である。

**問** すでに計画ができています。この計画が着実に実施されれば岡垣町の将来展望は大きく開ける。早く地元と話をまとめてほしい。  
**答** 中心市街地の活気を早く取り戻したいとの気持ちは十分にある。関係団体等と協議・検討しながら進めていきたい。



岡垣町の活気は、まず中心市街地の活性化から

### 海老津地区の宅地開発の件について

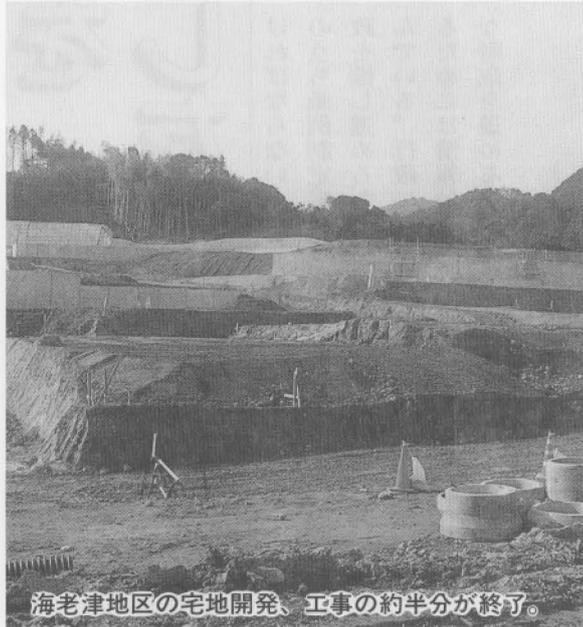
**問** 新聞報道などで「町根前町長が海老津地区の宅地開発に絡み、建設業者に便宜を図る見返りとして現金百万円を賄賂と知りながら受け取った」と報道している。  
**答** つまり、タイムリミットを過ぎたにもかかわらず、町は便宜を図って進めたことになる。しかも、何も議会には報告していない。



久保田秀昭議員

**問** このことで12月13日に一般質問に必要な資料を請求した件はどうなったのか。遠賀・中間地域広域行政事務組合で事件が起こったときは議会に資料を提出するために行政は警察にコピー機を持ち込んで資料づくりを行なっている。弁護士に尋ねたら「弁護士を通せば資料は取れる」ということである。回答を求めます。  
**答** 資料の提出については弁護士と話したが、町が必要なら資料は出せるが、議会のためには出せないとのことであった。覚書の内容については事件にかかわる可能性があるためで答弁できない。

なく、意図的に報告しなかったということにもなる。  
また、タイムリミットを過ぎたということは、覚書で町がメリットとしていたものが全て崩れ、権利・義務がない中で工事をさせている事になるのではないのか。



海老津地区の宅地開発、工事の約半分が終了。



平山 弘議員

1. 町の諸計画の公開について

岡垣町総合計画はもちろん、その他町民の生活にかかわる主要な計画についても、住民に積極的に公表・公開して、住民の納得のいく町づくりを進めていくべきではないのか。

答 各種の行政計画は住民への説明と公開を原則にしている。住民の理解なくしては遂行は不可能である。説明責任と情報公開は重要な政策と位置づけ積極的

PCBの環境汚染と対策

世界中から汚染の実態が報告され、鳥類や魚介類・食品、果ては人体や母乳までPCB汚染の実態がわかりました。日本においてもプロイラー中毒、カネミ油症事件などがあり、PCBの毒性に対する関心が高まりましたが、現在使用中のPCB機器についてはその使用中止を定める法律がありません。しかしながら、POPs条約の草案では、年限を決めてPCBを全廃することが締約国の義務とされています。

に取り組んでいく。

2. 政治倫理条例について 今回の刀根前町長の問題について、政治倫理上どのように判断されているか。

答 収賄容疑で逮捕された事実は残念だが、間違っていたと欲しいと願っている。

問 たとえ新築祝であったとしても、政治倫理の観点から見ると、お金を授受すべきではない。再びこのような問題がおきないように、政治倫理条例を制定すべきではないのか。

答 町長、助役、収入役、教育長、及び議員を対象に、政治倫理条例を平成13年度制定

に向けて取組んでいく。

3. PCB照明器具について

問 カネミ油症事件で問題のPCBが入っている蛍光灯の安定器が破裂して、児童がPCB油を浴びる事故が全国の小学校で相次いで発生している。

本町における学校・公民館などの公共施設でのPCB照明器具の使用状況はどのようなになっているのか。使用している施設があれば早急に安全な照明器具に取り替える必要がある。

答 庁舎本会二階南側の一部、東部保育所の遊戯室、中央公民館の一部で使用されている。安全を確保するため全器具の取り替えを早急に実施する。

町の諸計画の公開について  
政治倫理条例について  
PCB照明器具について

設については問題はない。我国でも期限を設定し全面使用禁止を求められている。

問 福祉サービスの窓口が役場福祉課と社会福祉協議会にあり、町民にとって相談先が明確でなく混乱の原因となっている。

高年齢の方がわかりやすく、手もとにおける案内書のダイジェスト版を作ったかどうか。

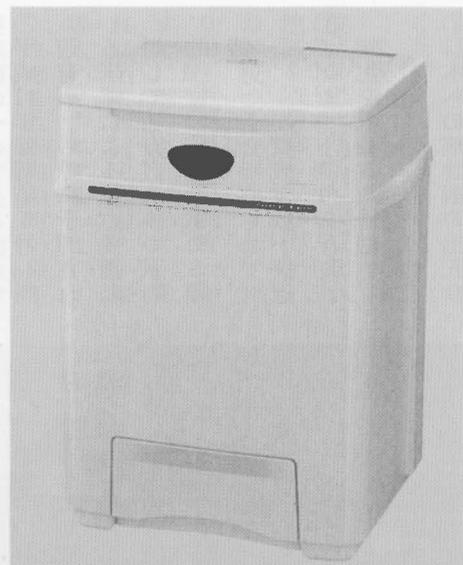
答 意向に沿ったものを作成することで検討する。

問 給食サービスの質と量の向上を図る必要があると考えるが、対策について何か考えているか。

答 給食設備の拡充や給食サービスの改善を実施して、目標値の達成をしたい。

問 日本人の気風は在宅共助型での福祉づくりが最適で、そのためには小地域の福祉ネットワーク活動をもっと推進していくべきと考えるが、このことについてどのように考えているか。

答 障害者や高齢者の人も社会参加し、行動できるようなバリアフリー化や町民が身近で福祉が受け



社会問題となっているゴミ、まずは家庭から取組を。

問 13年度からスタートする第四次総合計画での福祉対策の概要はどうなっているのか。

答 障害者や高齢者の人も社会参加し、行動できるようなバリアフリー化や町民が身近で福祉が受け

高年齢者の生きがい対策も基本にしたいと考えている。

問 生ゴミのリサイクル化が課題となり、プラント化が研究開発されているが、何か対策を考えているのか。

答 関係先とも調査研究し、将来は循環型としたい。

問 現在電気メーカーで、生ゴミ処理機が販売され好評だがこれに町独自の補助金を出したらどうか。

答 今後の状況を見ながら検討していく。

加給増強自置設しんじん  
(毎出系茶の器器しんじん)  
増強置設しんじん

# 12月定例会報告

第4回定例会は、12月5日から22日までの18日間で開催されました。町長職務代理者から平成11年度一般会計決算など21議案と報告2件が提案され、議員からは、公費医療制度の現行どおりの存続を求める決議など発議1件、意見書2件が提案され、審査結果は、可決16件、認定6件、同意2件となりました。

## 12月定例会議案の議決状況

○岡垣町教育委員会委員の任命について



安部 欽一郎

同意

○岡垣町教育委員会委員の任命について



吉田 眞幸

同意

○議会の議員及び長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例  
 ○中央省庁再編に伴う関係条例の整理に関する条例

可決

可決

○岡垣町東部出張所設置条例等の一部を改正する条例

可決

○戸籍システムの電算化に伴う公の施設等の住所の一部を変更するための整理に関する条例

可決

○岡垣町認可地縁団体印鑑条例の制定について

可決

○岡垣町営住宅管理条例の一部を改正する条例

可決

○岡垣町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例

可決

○岡垣町都市計画審議会条例の制定について

可決

○平成12年度岡垣町一般会計補正予算(第3号)

可決

○平成11年度岡垣町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

可決

○平成12年度岡垣町一般会計補正予算(第4号)

可決

○平成12年度岡垣町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

可決

○平成12年度岡垣町水道事業特別会計補正予算(第2号)

可決

○平成11年度岡垣町一般会計歳入歳出決算認定について

賛成多数認定

○平成11年度岡垣町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定

○平成11年度岡垣町老人保健事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定

○平成11年度岡垣町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定

○平成11年度岡垣町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定

○平成11年度岡垣町農業及び漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定

○平成12年度特定地域開発就労事業尾畑・小局線道路改良工事請負変更契約について

可決

○石炭対策並びに産炭地域の振興に関する意見書

可決

○平成11年度岡垣町一般会計予算継続費精算報告書

可決

## 請願・陳情

○デポジット制度の早期法制化を求める意見書

可決

○福岡県公費医療制度の現行どおりの存続を求める決議

可決

○平成11年度岡垣町一般会計予算継続費精算報告書

可決

○専決処分報告について(西部浄化センター土木工事請負契約の変更について)

可決

○精神障害者の福祉施策充実に関する請願書

閉会中の継続審査

○平成11年陳情第4号「周辺有事」の際に予想される米軍による協力要請に對して地方自治体の原則的態度の確立を求める陳情

閉会中の継続審査

○デポジット制度の早期法制化を求める陳情書

賛成少数不採択

○日本への核兵器の出入り

採択

○ISO14000s導入

閉会中の継続審査

# 福岡県公費医療制度の現行どおりの存続を求める決議

福岡県は乳幼児、障害者、母子家庭の医療費制度の見直しを（県補助率を2/3から1/2に、市町村補助率を1/3から1/2に）しようとしています。

この制度は社会的、経済的、身体的な弱者の立場に置かれている方々の、命と健康を守るための欠くことのできない、むしろ充実こそすべき福祉制度であります。

見直しがされると、住民と町財政の負担が増大することになります。

景気の低迷の中で、本町の財政運営は厳しさを増す一方であり、福祉の向上をめざさねばならない自治体の行政サービスの低下が懸念されます。

県の財政的支援なくしては、所期の目的を達成することは困難であります。

よって、本町議会は福岡県公費医療制度の現行どおりの存続を強く求める。

以上、決議する。

平成12年12月22日

福岡県岡垣町議会

(※11年度で比較すると、乳幼児医療費約491万円、重度心身障害者医療費865万円、母子家庭等医療費288万円が町の負担増となります。)

## 石炭対策並びに産炭地域の振興に関する意見書

本年3月、第147回通常国会において「石炭鉱業の構造調整の完了等に伴う関係法律の整備等に関する法律」が成立し、昭和30年代から約40年間にわたって実施されてきた総合的な石炭対策もいよいよ最終局面を迎えるに至った。

しかしながら、過去の閉山、合理化の影響を受けている多くの産炭地域町村においては、我々自治体関係者、地域住民が一体となり地域の自立的発展をめざして懸命の努力を続けているが、今なお、人口の流出、地方財政の悪化、ばた山・鉱害の残存等多くの課題を抱えている。

よって、政府・国会は、真の産炭地域の自立を図るため、現行石炭政策期限内における万全の取組みはもとより、政策終了に伴う激変緩和措置等に遺漏なきよう、次の決議事項の実現方につき、特段の配慮をされるよう強く要望する。

記

1. 石特会計「石炭勘定」の安定的財源確保
2. 地域の実情に即した激変緩和措置の対象地域の指定
3. 太平洋炭鉱及び池島炭鉱の長期存続
4. 産炭地域の自立を促進する振興対策の拡充強化
5. 産炭地域町村財政支援の充実強化
6. 鉱害・炭鉱跡地（ばた山を含む）等石炭後遺症の早期解消
7. 工業団地の分譲促進等企业誘致対策の強化
8. 雇用対策並びに商工業者対策等の強化
9. 産炭地域開発就労事業の激変緩和措置並びに特定地域開発就労事業の存続・有効活用
10. 炭鉱労働者雇用対策の強化

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成12年12月22日

福岡県岡垣町議会

通商産業大臣 平 沼 赳 夫 様

自治大臣 片 山 虎之助 様

## デポジット制度の早期法制化を求める意見書

ごみのポイ捨て、ダイオキシン、廃棄物処分場問題などごみ問題はますます深刻化している。平成9年4月から施行された容器包装リサイクル法は、平成12年4月に対象を拡大し安全施行されたが、事業者の負担に比べて市町村の負担がますます大きくなり、再使用の促進など循環型経済実現のための効果は十分とはいえない。

ようやく、今年5月、政府はわが国の大量生産、大量消費、大量廃棄型経済から、循環型経済社会への転換を目指す「循環型社会形成推進基本法」を制定した。同法には、拡大生産者責任や経済的手法導入に向けて努力条項が組み込まれた。今後は、この法律で規定された拡大生産者責任の下で容器包装リサイクル法を見直し、さまざまな経済的手法が積極的に導入されなければならない。

すでに欧米や韓国、台湾など多くの国では、省資源・資源循環を実現するための方策としてデポジット制度を導入し、ごみ減量、資源再使用などに大きな効果をあげている。この制度は、国民の理解と協力が得やすいこと、高い回収率や資源再使用の促進など廃棄物の発生抑制がはかれること、処理費用の負担が公平であることなどの利点があり、また事業者による自主回収を促進し、自治体のごみ処理費用を削減する上でもきわめて有効な手段である。ただし地域を限定したデポジット制度では識別方法が必要なことなどその効果が限定されるため、導入にあたっては全国一律の法制化が必要である。

よって岡垣町議会は、政府に対し、循環型社会の形成を一層推進するため、拡大生産者責任に立って、現行の容器包装リサイクル法を見直し、デポジット制度の法制化を早期実施するよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成12年12月22日

福岡県岡垣町議会

内閣総理大臣 森 喜 朗 様  
大蔵大臣 宮 澤 喜 一 様  
厚生大臣 坂 口 力 様  
農林水産大臣 谷 津 義 男 様  
通商産業大臣 平 沼 赳 夫 様  
自治大臣 片 山 虎之助 様  
環境庁長官 川 口 順 子 様

## 平成12年第4回岡垣町議会定例会審議結果表

会 期	月	日	曜	開 議 時 刻	摘 要	備 考
第 1 日	12	5	火	午前9時30分	・開 会 ・会議録署名議員の指名 ・会期の決定 ・提案者の提案理由説明 ・議案に対する質疑 ・委員会付託 ・採 決	初 日
第 2 日	12	6	水	午前9時30分	文教厚生常任委員会	
第 3 日	12	7	木	午前9時30分	総務常任委員会	一般質問
第 4 日	12	8	金	午前9時30分	経済建設常任委員会	合併任意協
第 5 日	12	9	土	※※※※※※※	休 会	
第 6 日	12	10	日	※※※※※※※	休 会	
第 7 日	12	11	月	午前9時30分 午後1時30分	観光開発特別委員会 遠賀郡の合併特別委員会	農業委員会
第 8 日	12	12	火	午前9時30分 午後1時30分	市街地活性化特別委員会 議 会 運 営 委 員 会	
第 9 日	12	13	水	午前9時30分	全 員 協 議 会	
第10日	12	14	木	午前9時30分	本 会 議	
第11日	12	15	金	午前9時30分	連 合 審 査 会	
第12日	12	16	土	※※※※※※※	休 会	
第13日	12	17	日	※※※※※※※	休 会	
第14日	12	18	月	午前9時30分	議 会 広 報 委 員 会	
第15日	12	19	火	午前9時30分	一 般 質 問	
第16日	12	20	水	※※※※※※※	予 備 日	
第17日	12	21	木	午前9時30分	市街地活性化特別委員会 ・委員会報告 ・委員長に対する質疑	合併任意協
第18日	12	22	金	午前9時30分	討 論 ・採 決 ・閉 会	最 終 日

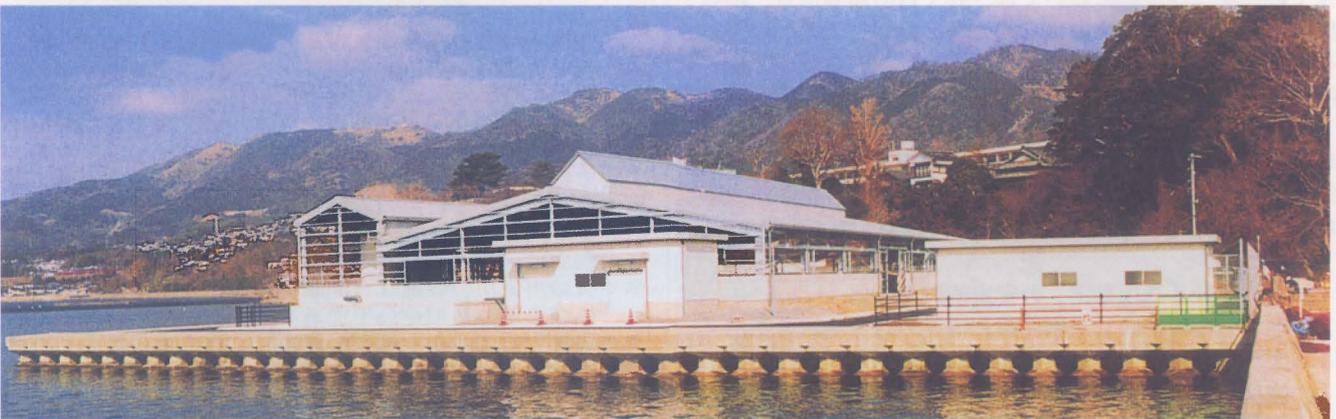
※都合により日程を変更する場合があります  
 ※議会開催前に審議予定を東部・中部・西部公民館にて配布しています  
 ※常任委員会・特別委員会などを傍聴される方は、事前に事務局へご連絡下さい。



**はねびす滝野（群馬県滝野町）文教厚生常任委員会視察研修**  
 おかがき総合福祉センター「いこいの里」と同様に入浴（温泉）、研修施設などがあり高齢者、障害者だけでなく、住民誰もが利用できる施設となっている。



**かじかの里学園（群馬県上野村）総務常任委員会視察研修**  
 都会の小・中学生が、親元を離れて学園で共同生活を営みながら、上野村の小・中学校に通い、自然の中での農業、林業等による生産活動や、遊びを通して真の人間教育を目指している。



### ひらめの中間育成施設（大分県日出町）経済建設常任委員会視察研修

日出町は特産物として、城下カレイや日出ナマコがあり、城下カレイは年間2t〜3tしか取れないため、水産庁の補助事業で漁礁の設置、中間育成施設の整備を行ない、12年度開始から約20万匹の稚魚を育成している。

## 編集後記

第四次総合計画が策定されている。二十一世紀最初に岡垣町が掲げる目標、諸施策などが検討されている中、まず岡垣町に必要なことは元氣を取り戻すことである。その一貫として議会の活性化、開かれた議会に取り組む必要があると考える。昨年からは議会開催前に本会議、各委員会などの開催日を記した審議予定表を東部、中央、西部公民館に配布しています。

また、本会議以外の総務、文教厚生、経済建設常任委員会においても委員長長の許可を得れば傍聴することが出来ます。また傍聴された方は、意見、感想などを、議会事務局に投稿していただければ、議会広報委員会でも検討し「議会だより」に掲載したいと考えています。

議員は町民の代表です。町民の幸せを願って発言しています。ぜひ傍聴において下さい。議会に参加していただくことが、岡垣町に活力を与える源にもなります。すべてに問題意識をもって、まちづくりに取り組みようではありませんか。

（竹井 和明）

- 議 会 広 報 委 員 会
- 委 員 長 木 原 信 次
  - 委 員 竹 井 和 明
  - 委 員 勢 屋 康 一
  - 委 員 下 川 路 良 壽
  - 委 員 曾 宮 良 壽